

TAKE
FREE

ご自由にお持ちください

岡崎市民病院と地域の皆さまをつなぐ広報誌『つ・な・が・る』

2026
4月号

April
No.23

つ・な・が・る

Tsu-na-ga-ru



Special Report

特集▶

耳鼻咽喉科

患者さまの体にとって
優しく、最適な治療を

CONTENTS

- 4 地域を支える
ひと・わざ・ころ
- 5 ホスピタルカフェ
- 6 OKAMIN NEWS

院長メッセージ

耳鼻咽喉科疾患全般のほか、高度な耳鼻咽喉科手術にも対応する当院の耳鼻咽喉科。今回の特集では、頭頸部がんの治療と鼻腔の手術・治療について詳しくご紹介します。また、今号から「つ・な・が・る」はリニューアルしました。各診療科が取り扱う疾患や治療の紹介のほか、病院内での取り組みや地域の皆様との交流などもより深く掘り下げてお届けし、地域の皆様の健康維持、そして医療機関の皆様とのさらなる連携強化をめざしてまいります。

頭頸部がん、鼻腔の手術・治療は岡崎市民病院へ

広く求められる耳鼻咽喉科として 患者の体にとって優しく、最適な治療を

脳、目、歯を除く首から上の部分は、耳鼻咽喉科の領域。岡崎市民病院の耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科疾患全般を取り扱い、高度な耳鼻咽喉科手術に対応している。今回は、耳鼻咽喉科の中でも、頭頸部のがんの治療について都築秀典統括部長に、鼻腔の手術について田中英仁部長にそれぞれ詳しい話を聞いた。

患者の声に耳を傾け、最適な方法を探る

手術ではなく放射線治療も選択肢に

場合によっては



都築秀典 統括部長

TSUZUKI HIDENORI

2007年東邦大学医学部卒業後、西尾市民病院での研修を経て名古屋大学医学部附属病院に入局。愛知がんセンターで研鑽を積んだ後、同大学病院にて頭頸部がん治療に注力する。2019年より現職。日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医、日本気管食道科学会気管食道科専門医。

頭頸部がんの治療では 機能温存に努める

頭頸部がんとは、脳、目、歯を除く首から上の部分である耳鼻咽喉科領域にできるがんの総称だ。岡崎市民病院の耳鼻咽喉科では、手術、放射線治療、化学療法の種類の治療法を検討し、手術と組み合わせるなどしながら機能温存に努めている。

「頭頸部がん手術の場合、話す、食べるなどの機能が損なわれる可能性があるため、形成外科や消化器外科と連携し、再建手術を行うこともあります」と話す都築秀典統括部長。だが、必ずしも手術あり



入院患者のほか、他科からの紹介患者にも対応。嚥下指導も行う

専門医が お答えします

病院では日々、患者さまからさまざまな質問をいただきます。みなさまの疑問について、専門の医師がわかりやすく解説します。



がんと診断されたのに、手術は1か月先。
すぐに治療開始しないのは不安です。

がん診断後は、2か月以内に治療開始することが望ましいとされています。治療開始までの待機期間は1か月ぐらにかかるのが通常。診断がついても、がん治療はステージによって内容が決まっていますから、ステージが決まらなると治療方針も立てられません。そのステージを決める追加検査に1か月程かかるのです。例えば、頭頸部がんで放射線治療をする場合

には、虫歯の抜歯が必要になるケースもあります。放射線治療を開始すると顎の骨に細菌が入りやすくなるため、虫歯や歯周病が感染源となって骨髓炎になってしまう可能性があるなら、あらかじめ歯を抜いておかなければいけません。放射線治療後は、血流が低下して傷が治りにくくなるため、こうした治療の準備にも時間がかかるのです。(都築医師)

きでは考えていないという。「機能温存のために、放射線治療だけで進める場合もあります」。

患者やその家族との対話を重視しながら、最適な方法を探る。

できるだけ粘膜や骨を削らない 体に優しい鼻腔の手術

近年増加しているアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などは、慢性化すると薬が効かないことも多い。鼻詰まりはQOLを低下させるため、重症の場合は鼻腔の手術を検討する。担当の田中英仁部長は「手術は全て内視鏡を使い、できるだけ短期間で、体に優しく、永続的な効果のある手術をめざしています」と話す。

「体に優しい」というのは、粘膜や骨をできるだけ残すこと。自身もアレルギー性鼻炎である田中医師は、どの術式でどういった素材を使えば痛みが少なくなるのかを、身をもって試している。

目標は愛知県で一番の耳鼻咽喉科 自信を持って手術に臨む

機能温存し、人間の本来持つて生まれた形を維持できるよう、骨や粘膜を残すことを優先する同科。手術だけではなく、新しい治療法も積極的に導入し、低侵襲を実践している。

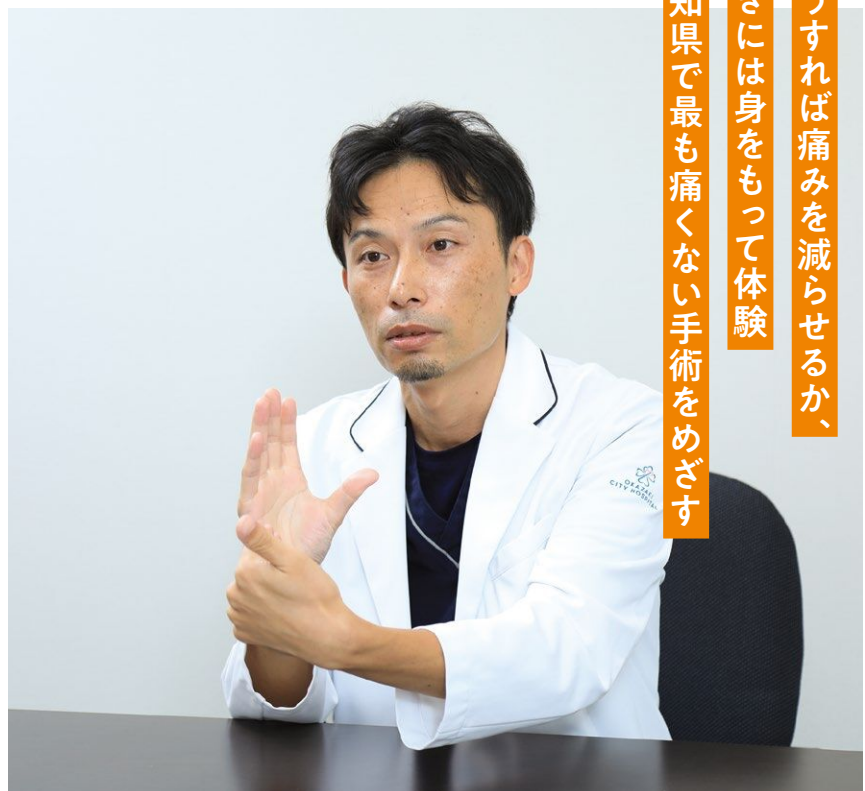
愛知県で先駆けて導入した「バ

ルーン副鼻腔形成術」は、鼻の穴から導入したバルーンをふくらませて副鼻腔を拡張する、切らずに行える新しい治療法だ。他に「薬剤溶出型の生体吸収ステント治療」も早期に導入した。

「さまざまな治療や術式を採用しながらあらゆる疾患に対応し、広く患者さんから求められる耳鼻咽喉科をめざします」と都築医師と田中医師は自信を持って話す。



新しい治療法を積極的に導入し、患者の「体に優しい」手術をめざす



どうすれば痛みを減らせるか、
ときには身をもって体験
愛知県で最も痛くない手術をめざす

田中英仁 部長

TANAKA HIDEHITO

2009年名古屋大学医学部を卒業。安城更生病院、刈谷豊田総合病院にて研鑽を積んだ後、名古屋大学医学部附属病院の耳鼻咽喉科に入局。2016年より現職。県内の耳鼻科医師を対象とした講演もを行い、地域医療のレベルアップに貢献。日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医。



鼻腔手術の後は、鼻血がたくさん出たり、 強い痛みが出たりするのでしょうか？

当院は、愛知県で一番痛くない耳鼻咽喉科をめざしています。例えば、手術直後に鼻に詰めるパッキング材がありますが、これは術後の出血を止めるために必要なものです。ですが、抜く時に3人に1人は倒れるくらいの激痛があり、こういった情報がインターネット上にあふれているので、手術に怖いイメージを持つ方もいらっしゃいます。当院ではそのパッキング材を使

用していませんし、使用する素材についても新しく開発されたものを導入するなどの工夫次第で、出血を抑えることができます。手間はかかりますが、そういった試行錯誤は大事。痛み、鼻の通り、出血のバランスを考えながら低侵襲な手術を行っています。術式もさまざまな方法があり、各患者さんにとって最適な方法を提供しています。(田中医師)



地域を支える ひと・わざ・こころ

病院ではさまざまな職種の人が働いています。中には患者さんとお会いすることのない陰で支えるスタッフも。今回は、「キャリア支援センター」について、看護長の吉田さんにお話を伺いました。



▶ キャリア支援センターで看護師のキャリアアップを応援しています



キャリア支援センター 看護長
吉田照美 YOSHIDA TERUMI

2000年3月県立愛知看護専門学校を卒業。同年4月入職。2022年に特定行為に係る看護師の研修を修了。糖尿病看護認定看護師。

Q キャリア支援センターが設置された経緯を教えてください。

超高齢社会や医療従事者不足といった社会背景の中で、看護師には幅広い活躍が求められています。地域貢献を使命とする当院の看護師には、看護師の教育、人材育成に特化した部署が必要ということで、2025年の4月に立ち上げました。

Q キャリア支援センターは何をする場所ですか？

看護師が学習できる環境を整え、成長をサポートする場です。院内教育担当者による教育支援と、スペシャリストが指導者となり看護師の特定行為研修を行っています。

Q 特定行為看護師とはどんなことをする看護師なのですか？

特定行為看護師は、あらかじめ医師が定めた手順書に基づいて一定の医療行為を実践できる看護師です。私たちはこうしたキャリアの取得をバックアップしています。

Q 吉田さんはどういった業務をされているのですか？

特定行為研修が円滑に進むように医師や指導者と調整をしたり、学習が順調に進んでいるかどうかを確認したりしています。また、研修生が院内業務と両立できるよう、面談や声掛けをするなどして精神的なフォローも行っています。



キャリア支援センターでは、病棟との兼務者も含めて現在5名の看護師が働いている。業務は、大きく分けると特定行為研修の企画・支援や新人看護師の教育・指導。看護師だけでなく、メディカルスタッフが相談に来ることもある。

地域の方へメッセージ



地域の患者さんに、質の高いケアを提供できる看護師を増やそうと日々励んでいます。指導医の医師は、毎日、当センターを訪れて研修生一人ひとりに声掛けをするなどして励ましてくださっていますし、研修生やキャリアのある先輩看護師との議論も活発です。院内だけでなく地域の看護師さんも受講できるよう準備を進めていますので、一緒に参加、学び成長いただけることを楽しみにしています。(吉田さん)

病院のホットな情報をお届けします!



ホスピタルカフェ

「ホスピタルカフェ」では、病院に関するホットな人、取り組みなどをご紹介します。

ホッと一息、ぜひお立ち寄りください!

Hospital cafe

今回のテーマ

受診票の裏面を使い、待ち時間を有効活用

市内の中学生のアイデアで
システム閲覧数は8倍以上に

一人ひとりの患者さんとしっかりと向き合った医療を行うには時間が必要ですが、「病院は待ち時間が長い」というのは、多くの患者さんが不満に感じていることでしょう。この待ち時間を有効活用するためのアイデアを出してくれたのが、岡崎市立甲山中学校の生徒会の皆さん。「モバイル呼び出しシステム」と「待ち時間を楽しむ健康情報」の二次元コードを受診票の裏面に掲

載する案を生徒市議会に出し、昨年の11月に実現しました。「モバイル呼び出しシステム」にメールアドレスを登録すれば、呼び出しがあるまで車内で休んだり、カフェでお茶を飲んだりと待合以外の場所で自由に過ごすことができ、診察状況も確認できます。元々あったサービスですが受診票に記載されたことで閲覧数も8倍以上に増え、活用される患者さんが増加中。受診の際はぜひご活用ください。

※小児科、眼科、放射線科、検査部門は対象外です。



▲実際の受診票裏面。各サービスに二次元コードで簡単にアクセスできる



▲発案した甲山中学校の生徒会の皆さん

Close up 発案した甲山中学校の生徒会の皆さんに取材しました!

病院での経験から発案し、広く利用してもらえるよう工夫



左から、天野さん、小栗さん、宇佐美さん。実際に利用する患者からも、天野さんたちにポジティブな反応が届いているようだ

待ち時間をなんとか有効活用できないかと考えたのは、生徒会副会長の天野蒼介さん。家族の付き添いで何度も病院を利用した経験から発案したそうです。同じく副会長の宇佐美真市さんは、他所で待つことができれば感染対策にもなり、視覚や聴覚の障害者にも音や振動で伝えることができると賛同し、さらに「待ち時間を楽しむ健康情報」もアクセスできるようにしたいと提案。会長の小栗綾華さんは、もっと広く知ってもらえるようSNSで発信していきたいと話してくれました。

Hospital cafe

OKAMIN NEWS

公式マスコットキャラクター『OKAMIN』から皆さまへ、当院の話題をお届け。

「愛知県救急医療推進大会」で当院の中野医師が表彰されました



地域の方々の救急医療への理解促進と、救急医療関係者の意識高揚のために、「救急の日」である9月9日(火)に開催された「愛知県救急医療推進大会」。その大会で、当院の中野浩医師が救急医療功労者として表彰されました。

「いろいろな方に助けていただきながら長くやってきたことでの受賞だと思います。私1人ではなく、病院全体が評価されたと感じております」と中野医師。これからも地域の救急医療を支え皆さまの命を守るため、チーム一丸となって尽力してまいります。

岡崎市民病院フェス2025 今年も大盛況!

10月18日(土)に「岡崎市民病院フェス2025」を開催し、約2500人に来場いただきました。当日は、模擬調剤体験やCT画像作成などの体験イベント、また、院内見学ツアーや、正しい歩き方やがん検診について学ぶコーナーなど、お子さんから高齢者の方々まで楽しめるような企画を多数用意しました。

参加いただいた方からは「子どもに健康と医療について触れさせることができ、貴重な機会となった」「病気の時じゃないと来ない大きい病院に元気な時に来れておもしろかった」などの感想をいただきました。イベントを通じて地域の方々に岡崎市民病院を知っていただく大変貴重な機会となりました。



OKAMINからのひとこと

リニューアルした「つ・な・が・る」はどうだったかな? 「ホスピタルカフェ」で紹介した、甲山中学校のみんなの素晴らしいアイデアによってできた受診票裏面は、ぜひ確認して、待ち時間を有効活用してね!

岡崎市民病院公式マスコットキャラクター
OKAMIN(おかみん)



ラジオ放送中

エフエムEGAO「イブニングチャージ」で旬の健康情報を聞こう

18:00~18:20 イブニングチャージ「いまどき旬」コーナー

2026年
4月16日(木) 四月病・春バテとやさしくつきあう

診療技術室 公認心理師 高島綾子

5月21日(木) 熱中症が起りやすい時期、早めに気づこう
体調不良。体調管理のパロメーターとは

救急看護認定看護師 白瀬裕章

6月18日(木) 知れば防げる! 食中毒

栄養サポート室 管理栄養士 吉田年広

エフエム EGAO
(76.3MHz)
エフエムEGAO



※過去の放送の様子

これまでの放送内容は
こちらから!



当院は臨床研修指定病院です。

〈臨床研修理念・基本方針〉

● 臨床研修理念

チーム医療を育む協調性とリーダーシップを持ち、患者に寄り添いながら全人的医療を主体的に実践できる医師を育成する。

● 臨床研修基本方針

1. 患者および周囲との協調および敬いの心を常に意識できる。
2. 安全な医療を提供するための基本的知識、技能を習得する。
3. あらゆる救急疾患への初期対応能力を身につける。

 岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

〒444-8553 岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
TEL 0564-21-8111
<https://www.okazakihospital.jp/>

公式
ホームページ



@okazaki_hp



@okazaki_hp



岡崎市民病院 検索

 つながる
Tsu-na-ga-ru

2026
4月号
No.23

発行責任者/院長 小林 靖 発行/岡崎市民病院 広報部
記事提供・編集協力/株式会社ギミック
発行/2026年4月